

【 事業の内容 】

コロナ禍の中、地域のコミュニティが減少したり、失業・休業などで経済的困窮に陥ったりして、困っている家庭もある。地域の人(ご近所、町会の人、民生委員、校区社協Voなど)や、相談機関(市社協、地域包括、CSW、市役所、くらしサポートセンターなど)に相談できる人は問題解決に進むと思われるが、相談できない人は苦しんで過ごしている可能性がある。

そのため、相談できない人が自分から支援を求められるように、困った時の相談先パンフレットを地域内に全戸配布して、困ったことを発信するきっかけにしたい。

市社協でおこなう事

【困った時のなんでも相談パンフレットの作成】

- ・なんでも相談パンフレットを実施する地域(校区)に合わせた文言に、市社協と校区社協とで相談しながら作成します。
- ・必要部数を印刷します(印刷費は市社協で支出しますので、配布のご協力をお願い致します)。

ボランティアさん(校区社協)でおこなう事

【実施するかどうかを検討】

- ・興味を持っていただいたボランティアさんは、市社協までお声がけをお願いします。

↓(興味や関心を持っていただいたら)

【協議の場や説明会等の開催】

- ・(市社協から)事業の説明を行いますので、「実施する・実施しない」を決めてください。
※実施する場合は、下の②～④のような校区内の“地域限定”でも実施が可能となっています。
- ①校区全域で実施
- ②校区のうち〇〇町と〇〇自治会で実施
- ③校区のうち〇〇町サロンのみで実施
- ④校区のうち〇〇町サロンと〇〇自治会と〇〇マンションで実施 等
- ※実施方法は様々となっていますので、お気軽にご相談ください。

みんなでローラー作戦実施

- ・実施団体(校区社協、町会、民生委員…等)を決定し、対象地域にパンフレットを全戸配布する。
- ・実施時期を決める。

“困っている”の相談が入ったら…

校区社協、町会、民生委員に“困っている”の相談が入ったら、市社協、地域包括、CSWと連携

“困っている”が解決！！

- ・困っていることが、解決して良かった！
- ・困っていた人が笑顔に！ (^o^)



みんなが安心して生活できるね！！

住民による住民のための

信太校区見守りネットワーク

「困った時、どこに相談すればいいのかわからない」とのご意見を受けて、信太校区ではお近くの町会・自治会班長、民生委員児童委員、校区社協ボランティア等が、相談機関や支援へつなぐ身近な窓口になるため、平成29年に「信太校区見守りネットワーク」を構築しました。

お困りごとがあれば、お気軽に上記役員、ボランティア等へご相談ください。

誰もが住みよい信太校区を目指した見守り活動です。

↓ホームページのQRコードはこちらから！↓



和泉市役所
暮らしサポート
センター



ペガサス
いきいきネット
相談支援
センター



和泉市社会福祉
協議会
基幹相談支援
センター



和泉市社会
福祉協議会



和泉市社会
福祉協議会
Instagram

作成：信太校区社会福祉協議会
和泉市社会福祉協議会 地域福祉係
電話：43-7513

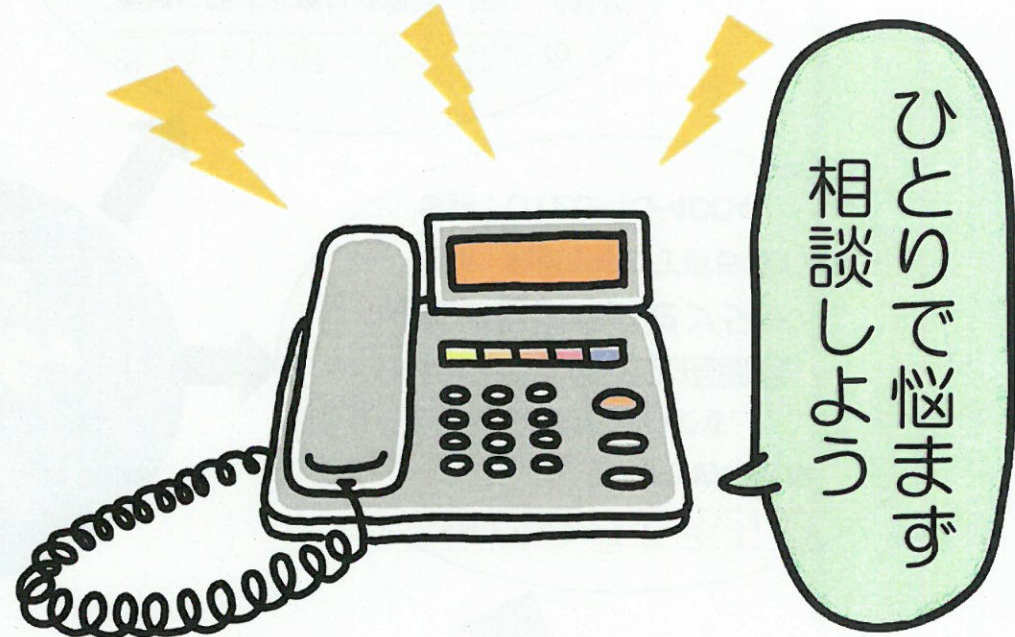
高齢者

くらし

障がい

信太校区の

困った時の相談先



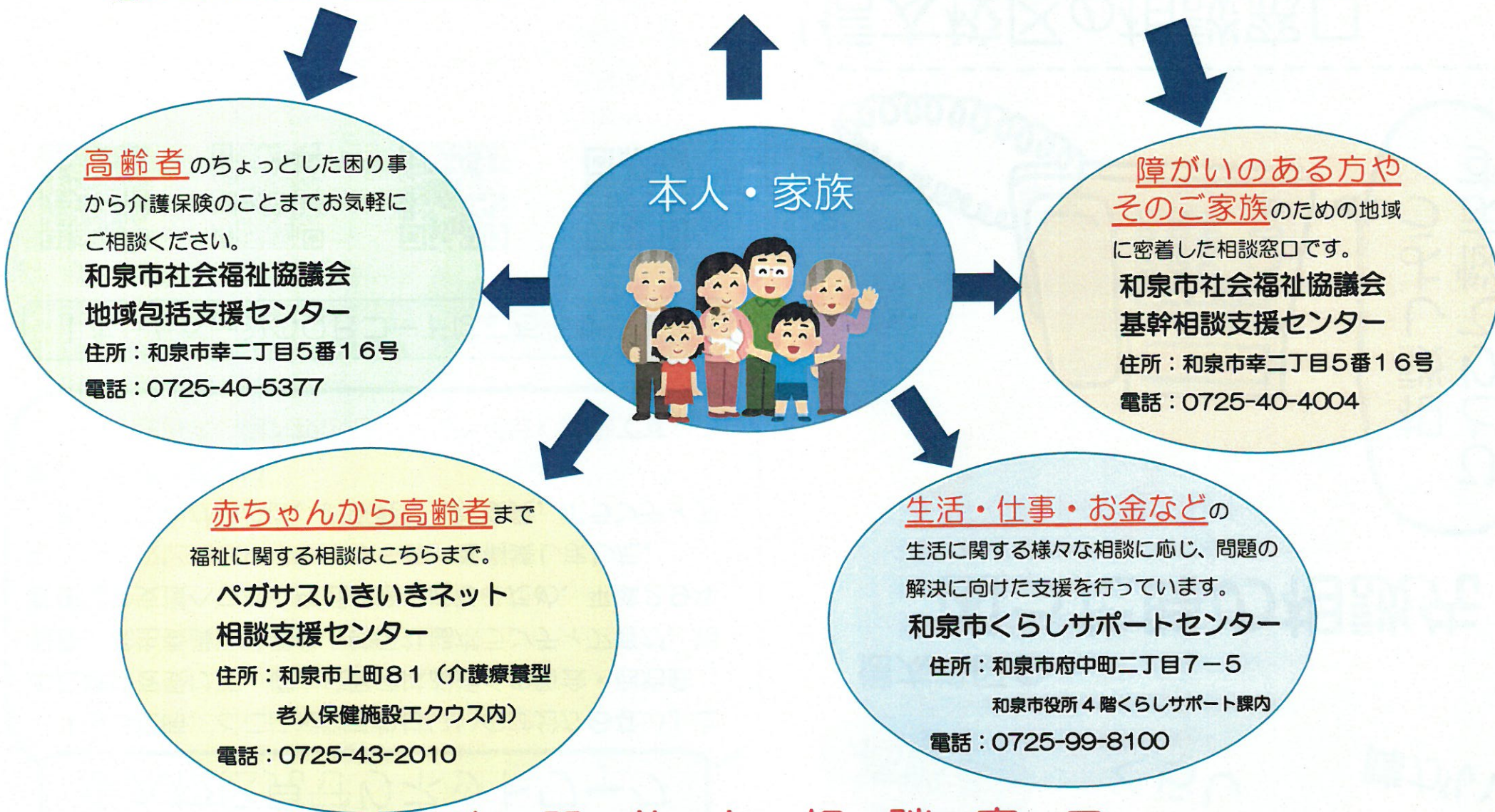
信太校区の相談窓口

お近くの「自治会役員や班長」「民生委員児童委員」「校区社協ボランティア」にまずはご相談を！

信太校区の相談窓口

～皆さんの一番身近な相談窓口～

皆さんの生活におけるお困りごとやご相談は、「自治会役員や班長」（各役員の玄関先に札を掲示）
「民生委員児童委員」（小学校前に掲示）「校区社協ボランティア」等まで、お気軽にご相談ください。



専門的な相談窓口